

22 地域の自然と歴史を知る

【石巻の地形、土地利用と災害】

石巻市内には、旧北上川沿いから東松島市にかけて平らな土地が広がっているところや、牡鹿半島のリアス式海岸のように平らな土地がほとんどないところがあります。平らな土地は、川の氾濫の繰り返しによって、上流側から運ばれた土砂が堆積してできた土地です。

低地とは洪水の被害を受けやすい土地で、高潮や津波による被害もあり得ることがわかるでしょう。泥が堆積したところでは地震の揺れが大変大きくなりやすく、砂が堆積したところでは液状化現象による被害もあり得ます。低地では、そのような災害の危険性がある土地ですが、大変豊かで便利な土地でもあります。だからこそそこに人々が住み、街ができたりもしました。石巻の人々はそのような土地を、どんな工夫をしてどのように利用してきたのでしょうか？集落はどこに、水田はどこにつくったのでしょうか？今の石巻と100年前の石巻について考えてみましょう。

【自分たちの暮らす街の100年前について考えてみよう】



1. 100年前、自分たちの暮らす街の土地は、どのように利用されていたのだろうか？

2. 100年前、自分たちの暮らす街は、人々が生活していくうえでどんな利点や危険があったのだろうか？

【自分たちの暮らす街の今について考えてみよう】



※どんな復興・防災マップを作成するか話し合ってみよう。

A large empty rectangular box with a green border, intended for a discussion or drawing related to the recovery and disaster prevention map.